

一般質問



嶋田
議員

- 一、松浦市東部工業団地への企業誘致の現状について
二、今福定住促進住宅建設工事の現状と課題について

質問

一、今福の町内は、松浦東校が閉校となつてからは生徒がいなくなり、また、鷹島大橋の開通によつて港と周辺の街中が寂しくなっている。

松浦の活性化はもとより今福の活性化のためにも、併せて多くの市民の雇用となるためにも、1日も早く東部工業団地への企業誘致が必要であると思う。これまでの誘致の現状について伺いたい。

二、今福定住促進住宅は、既に地質調査が完了し、住宅の基本設計と実設計を25年度内に完成させ、都市計画法に基づく手続きの後、26年度から建設工事に着手し、27年度の完成に向けて事業を進めているとのことである。木造二階建ての住宅33戸を建設するにあたり、市内の大工さん等々の仕事の場として建設するとも聞く。材料についても市内のものを調達、利用し、木造住宅のモデルとなるような住宅を建てて頂きたいと思う。今後の考えについて伺う。

その他に松浦市の本庁舎及び各支所の多目的トイレ及び冷暖房の現状について、今福町民グラウンド移設の問題点について質問しました。

答弁

一、企業誘致は、地域の活性化、雇用の場を創出するための市の重要課題です。東部工業団地については、現在複数の企業に現地視察を行つて頂いており、引き続き積極的に企業訪問を行うとともに、県にも支援を頂きながら、全力を挙げて一日も早い誘致が実現するよう努力してまいります。

二、本年度までに測量と設計及び実設計を行い、26年度において造成工事と17戸の住宅を、27年度に残る16戸の住宅を整備する計画です。

建設にあたっては、現在、松浦木造の家プロジェクトという組織を立ち上げ、市内の木造大工や建具職人などの技術者の方々と材木屋の方に参加頂いて、できるだけ多くの方が参加できるように対策ができないか検討中です。貴重なご意見を最大限生かせるよう、今回の今福定住促進住宅建設は、市内業者への発注によつて、より多くの業者の方々が参加頂けるような、また、市内で可能な限り資材等の調達ができるように発注の方法を検討してまいります。

一般質問



久枝
議員

- 一、企業誘致と既存企業への支援について
二、志佐町浦川都市下水路改良改善について

質問

一、(1)公益財団法人長崎県産業振興財団に市職員を派遣していますが、どのような情報を入手していますか。
(2)600社以上の訪問実績があるが、市職員が独自に活動しているのか。
(3)企業誘致で市が売り込む優遇措置をどう示されているのか。
(4)アベノミクスによる経済効果をどのように捕らえているか。
(5)派遣職員に対してどのように叱咤激励をしているのか。

(6)施政方針の中に、スピード感を持つて攻めの姿勢で市民の期待に応えるところがあるが、市長の決意を伺いたい。

二、(1)機能維持のために年に一度は浚渫しゅんせつ工事が必要だと思うが、浚が見ごろとなる直前にこの作業が行われ、蛸の数も3分の1くらいになっている。作業時期を考える余地はあるか。
(2)川床の一部の両側を嵩上げして歩道をつくり、自然の川のようにする改修を試験的にしたらどうか。
(3)さらに21の前の暗渠入口付近は、大雨の後に常に材木などが溜まって、上流に柱を建てて、流木が柱に当るようにすれば橋桁への損傷がなくなると思うがどうか。

答弁

一、(1)2名の派遣職員は、財団の一員として企業訪問や情報収集を行い、600社以上訪問しています。その結果、東部工業団地への現地視察に十数社が来しました。また、集めた情報をもとに企業訪問等にも利用しています。
(2)職員が単独の場合も、財団幹部とともに訪問する場合もあります。

(3)雇用拡大のための支援や用地取得等に対する奨励金制度を設け、支援内容の拡充を図っています。

(4)全般的に景気に明るい兆しが見えているということです。業績が向上きの企業或いは進出意欲のある企業に積極的な誘致活動を展開します。
(5)的確な情報収集を行うよう督促しております。

(6)魅力ある条件を提示しながら、一日も早い企業誘致の実現に全力で取り組んでまいります。

二、(1)雨期を前に浚渫を行う必要があります。浸水防止対策上重要な作業でありますので、ご理解願います。
(2)ご指摘の件については、検討できればと考えます。
(3)防護柵さくの設置に関しては、慎重に検討させていただきます。